

プログラム 名 称	芸術実践
概 要	このプログラムでは、音楽や美術などの実技や実践を主軸に、理論や歴史も交えて芸術について学ぶ。 芸術とは、「センスのある」限られた人だけのものではなく、芸術はむしろ、言語コミュニケーションと並ぶコミュニケーションの手段であり、そのリテラシーは学んで身につけることができる。 AI時代に適応した問題解決能力として、昨今芸術の思考方法に注目が集まっている。本プログラムは、これからの時代にこそ必要とされる非言語コミュニケーションの一つとして、芸術の思考方法やその表現手法を養うことを目的とする。
到達目標	1) 芸術表現のプロセスに触れ、芸術ならではの思考方法があることを理解し、説明することができる。 2) 音楽的/造形的な思考や表現に親しめるようになる。 3) 芸術におけるものの見方を社会や日常にも応用し、物事を多面的・多元的に見るようになる。
履修資格	
修了要件	次の条件をすべて満たしていること。 ・所定の授業科目について12単位以上を修得していること。 ・教育学部 学校教員養成課程教科教育コース 音楽教育専修及び美術教育専修の所属ではないこと。
その他 特記事項	水準コードが10番台であっても、当該学部生以外の履修は可能。ただし、こうした実技系の授業科目は、授業運営の都合上、概して定員が少なめに設定されている。そのため、マイナー・プログラム学生の履修者数を制限する必要があることを理解してほしい。

区分	開講番号	開設科目名	必修	単位	学期	曜限	形態	対象学年	分野	水準	定員	隔年開講	備考
	260G7536	美術史		2	第3,4ターム	水3	講義	1,2,3,4,5,6	13	03	150		
	263H2013	芸術学概説B		2	第3ターム	月1,月2	講義	2,3,4	28	03	50		
	261H2014	芸術学概説C		2	第1ターム	金3,金4	講義	2,3,4	13	03	50		
	260E6215	アートマネジメント		2	第3,4ターム	月6	講義	1,2,3,4,5,6	37,13	04	200		
	260G7061	水彩画表現入門		2	第1,2ターム	水3	演習	1,2,3,4,5,6	13	03	70		1
	260T7024	空間造形演習		2	第1,2ターム	金5	講義・演習	2,3,4,5,6	13	13	40		
	264K1806	デザイン基礎		2	第4ターム	月5,水5	実技	1,2,3,4,5,6	13	13	20		
	260K1852	絵画基礎		2	第1,2ターム	月5	実技	1,2,3,4,5,6	13	13	20		2
	260K1863	現代日本画研究		2	第1,2ターム	月4	実技	2,3,4,5,6	13	14	20		2
	260K1864	古典日本画研究		2	第3,4ターム	月3	実技	3,4,5,6	13	14	20		2
	260K1831	造形教育論		2	第1,2ターム	火3	講義	2,3,4,5,6	40	04	20		
	260G7063	音楽(ピアノ)		2	第1,2ターム	金3	演習	1,2,3,4,5,6	13	03	20		
		音楽E											
	260K6287	合奏A		1	第1,2ターム	月3	実習	2,3,4,5,6	13	14	60		
	260K6288	合奏B		1	第3,4ターム	月3	実習	2,3,4,5,6	13	14	60		
	260K6202	音楽表現II		2	集中	他	演習	2,3,4,5,6	13	04	15		
	260K6285	合唱A		1	第1,2ターム	火4	実習	2,3,4,5,6	13	14	15		3
	260K6286	合唱B		1	第3,4ターム	火4	実習	2,3,4,5,6	13	14	15		3
	260K6212	音楽史		2	第3,4ターム	木1	講義	2,3,4,5,6	13	04	15		

※1 対象学年はシラバス「聴講指定等」も参照してください。 ※2 定員等の関係で履修できない科目もあります。

- 備考 1) 材料は各自が用意する。他学部生であっても履修可。リモート参加による演習授業。
2) 材料費は各自が負担する。他学部生であっても履修可。但し、授業運営上、人数制限を行う場合がある。
3) 女声合唱とする。